

職業奉仕委員会基本方針

RI2530地区2022-23年度

職業奉仕委員会委員長 齋藤 純一

RI2530地区2022-23年度職業奉仕委員会委員長を拝命しました、会津若松西 RC 所属齋藤純一です。趣味は「そば打ち」です。自分で打つ蕎麦は美味しいですよ「自我蕎麦」。

職業奉仕の実践を表した言葉があります。担当相談役の大橋廣治パストガバナーはことあるごとに「ロータリーを一所懸命やると企業が繁盛しますよ」「ロータリーを一所懸命やると企業は絶対潰れませんよ」と話して下さいます。言い換えれば「職業奉仕を一所懸命やれば企業は繁盛し、企業は潰れない」ということではないかと解釈しています。まさに、職業奉仕実践の金言であると思っています。

武漢から発した新型コロナウイルスはパンデミックにまで拡大し、生活様式を変えるほど私たちの身の回りの環境もまた大きな変化のうねりが襲っています。種の起源のダーウィンは「生き残っていくものは、強いものでも、大きなものでも、賢いものでもない。それは、変化の環境に適応していける者だけが生き残る」と言っているのを思い出しました。これは動物だけでなく、企業にも団体にも当てはまることです。佐藤正道ガバナーエレクトはこの状況を鑑みて「職業奉仕委員会についてもこの大きな変化に対応しなければならない」と私たちに大きな宿題を課して頂きました。一つは石黒年度に初瀬委員長を中心に策定しました「ふくしま職業奉仕宣言」の活用であります。委員会において職業奉仕理論の意義づけを確認しその具体的な活用方法を検討したいと思います。もうひとつは RI でも採用されました DEI（多様性、公平さ、帰属意識）を取り入れたウイズコロナに対応した、新しい時代の職業奉仕の在り方についてであります。時代の変化に対応し「四つのテストを経営理念」として職業奉仕を実践して成功をおさめられているリユース業界のリーディングカンパニーである上場企業ハードオフコーポレーション代表取締役会長山本善政氏の講演を10月2日ユラックス熱海で開催致します。また、それを深堀するためのRLI方式を取り入れたデスクッションを実施する委員会セミナーを委員会合同や連携によって開催したいと思います。また、ガバナー月信に「職業奉仕について」をテーマに掲載させていただき広く職業奉仕の学びの機会の一助になることを願います。そして DEI についても DEI 委員会の皆様と連携して学んでいかなければならないと思います。阿久津パストガバナーがよくおっしゃる地区の委員会はスペシャリストであり、クラブをサポートするためにあるという言葉に胸にそのあるべき姿について模索し行動する1年間にしていきたいと思います。チーム意識をもって委員会活動を実施していきたいと思いますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。